

# 社会資本総合整備計画

道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現

(第9回変更)

平成 28 年 3 月 30 日

北海道札幌市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成28年3月30日

計画の名称	道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成28年度	（6年間）	交付対象 北海道札幌市
計画の目標			

昨今の札幌都心地区の現状は、JRタワー開業以来の集客機能の集積により札幌駅周辺地区の活況が著しいが、魅力的で活力ある都心の実現のためには、一極集中ではなく、都心内の魅力スポットをつなぎ、回遊性を高めるとともに、都心へのアクセシビリティを向上させることにより、都心全体として均衡ある発展を図ることが必要である。

平成23年3月には札幌駅周辺地区と大通駅周辺地区をつなぐ駅前通地下歩行空間が開通し、これによって地下歩行空間のネットワークが形成されることから、その結節点となる地下鉄さっぽろ駅及び大通駅コンコースにおいて、四季を通して快適に歩ける空間を創出することによって、都心の回遊性を一層高める。さらに、休憩・滞留支援機能の充実や、都市生活の豊かさを幅広く支える拠点として利便性の向上やにぎわい機能、文化芸術等の情報発信機能の充実によって、魅力ある交流空間を創出する。

また、地上部においては、誰もが利用しやすい路面電車の整備により、都心及びその周辺へのアクセシビリティ向上等、都市交通の円滑化を図るとともに、デザイン性に優れた軌道施設の整備やバリアフリー対応の低床車両の導入等により、都心内に新たな都市景観を創出することで都心の魅力アップに貢献する。

これらの公共施設整備に併せて、その周辺で行われる民間再開発等に対し積極的な支援を行い、商業・業務・住宅等の都市機能の集積を図るとともに、交流や憩いの場となるオープンスペースを創出することで、にぎわいの核を創出し、公共施設整備の効果をよりいっそう高め、都心全体での均衡ある発展に寄与する。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者交通量を87,524人/12時間（休日）（H22）から101,265人/12時間（H28）に増加</li> <li>歩行者空間の魅力度（魅力的な場所だと思ふ人の割合）を28.2%（休日）（H22）から36.1%（H28）に増加</li> <li>滞留している人の数を150人/12時間（休日）（H22）から172人/12時間（H28）に増加</li> <li>大通地区地上部の魅力度（魅力的な場所だと思ふ人の割合）を52.4%（休日）（H23）から63.5%（H28）に増加</li> <li>路面電車停留所の待合い機能を兼ねたオープンスペースを0㎡（H22）から130㎡（H28）に増加</li> </ul>		
----------------	---	--	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H28末)	
大通交流拠点の地上、地下部で「回遊する人」の合計を測定する。（休日の歩行者交通量から通勤・通学目的を除く）	87,524人/12時間（休日）	-	101,265人/12時間（休日）	
地下鉄コンコースにおいて、歩行者空間の魅力度について利用者アンケートを実施する。	28.2%（休日）	-	36.1%（休日）	
地下鉄コンコースにおいて、滞留している人の数を測定する。	150人/12時間（休日）	-	172人/12時間（休日）	
駅前通地上部（南1条通～南4条通間）の魅力度についてアンケートを実施する。	52.4%（休日）(H23)	-	63.5%（休日）	
路面電車停留所の待合い機能を兼ねたオープンスペースの面積を測定する。	0㎡	-	130㎡	

全体事業費	合計 (A+B+C)	8,881百万円	A	7,512百万円 (うち提案分112百万円)	B	24百万円	C	1,345百万円	効果促進事業費の割合 (A提案分+C) / (A+B+C)	16.4%
-------	---------------	----------	---	---------------------------	---	-------	---	----------	----------------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生	一般	札幌市	直接	札幌市	札幌駅・大通駅周辺地区都市再生整備計画事業	広場 6,500㎡等	札幌市							1,539.5	うち提案事業分112.3
1-A-2	交通	一般	札幌市	直接	札幌市	都市・地域交通戦略推進事業	軌道敷設 約380m	札幌市							2,357.4	
1-A-3	住宅	一般	札幌市	間接	組合	南2西3南西地区市街地再開発事業	住宅、商業等 0.6ha	札幌市							2,997.4	事業期間：H31まで
1-A-4	住宅	一般	札幌市	間接	組合	北8西1地区市街地再開発事業	住宅、商業等 1.9ha	札幌市							138.4	事業期間：H31まで
1-A-5	住宅	一般	札幌市	間接	個人	南1西14地区優良建築物等整備事業	医療、高齢者住宅	札幌市							0.0	
1-A-6	住宅	一般	札幌市	間接	個人	北2西3北地区優良建築物等整備事業	業務、商業 0.3ha	札幌市							479.0	
合計												7,511.7				

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27	H28		
1-B-1	施設整備	一般	札幌市	直接	札幌市	軌道関連施設整備事業	軌道関連施設整備	札幌市							24.3	
合計												24.3				

番号	一体的に実施することにより期待される効果								備考
1-B-1	軌道の整備(1-A-2)に併せて、必要となる保安施設等の整備を行うほか、電停や架線柱といった軌道施設についてはデザイン性に考慮した整備を行うことにより、路面電車や関連施設が交通機関としての役割を持つだけでなく、沿線の活性化や魅力的な都市空間の創造に寄与することができる。								

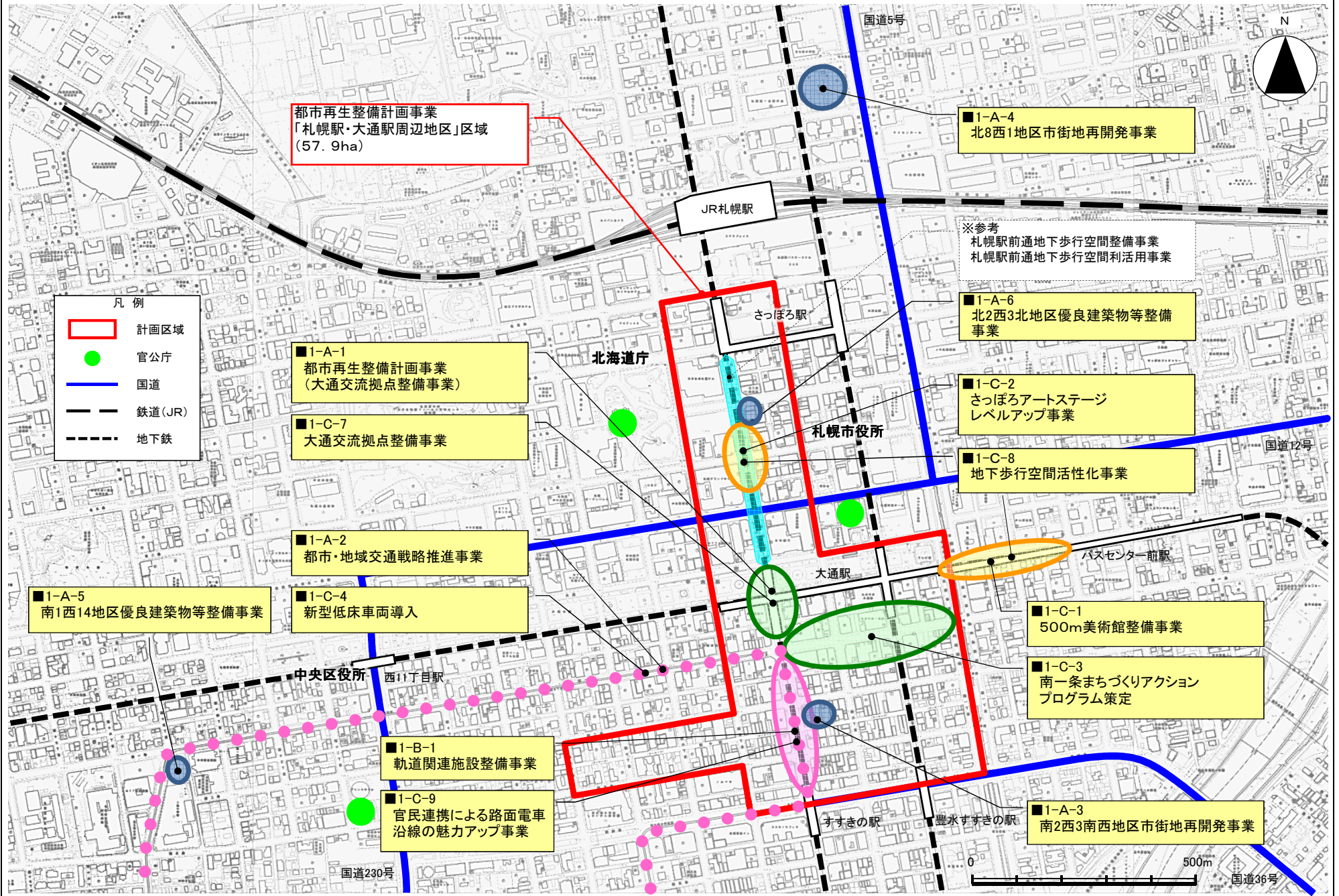
C 効果促進事業										備考						
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)						全体事業費 (百万円)	
									H23		H24	H25	H26	H27		H28
1-C-1	施設整備	一般	札幌市	直接	札幌市	500m美術館整備事業	地下鉄コンコースを活用した美術館の整備	札幌市							63.9	
1-C-2	活動支援	一般	札幌市	直接	札幌市	さっぽろアートステージレベルアップ事業	地下歩行空間を利用したアートイベント	札幌市							9.8	
1-C-3	計画・調査	一般	札幌市	直接	札幌市	南一条まちづくりアクションプログラム策定	南一条まちづくりプログラム検討	札幌市							33.9	
1-C-4	車両購入	一般	札幌市	直接	札幌市	新型低床車両導入	新型低床車両(4両)の購入	札幌市							845.3	
1-C-7	施設整備	一般	札幌市	直接	札幌市	大通交流拠点整備事業	証明サービスコーナーの整備	札幌市							324.9	
1-C-8	活動支援	一般	札幌市	間接	実行委員会	地下歩行空間活性化事業	公共空間でのアートの展示	札幌市							63.9	
1-C-9	施設整備	一般	札幌市	間接	札幌大通まちづくり構 官民連携による路面電車沿線の魅力アップ事業	駅前通浴道のオープンデッキ等整備		札幌市							3.5	
合計													1,345.2			

番号	一体的に実施することにより期待される効果								備考
1-C-1	地下歩行空間ネットワークの魅力を高める1-A-1に加え、これまで期間限定であった500m美術館を常設化し、札幌独自の文化芸術を国内外に発信する拠点を創出するとともに、魅力空間の創出による都心内の回遊性向上によって、事業効果を一層高める。								
1-C-2	1-A-1に加え、札幌駅前通地下歩行空間でアートイベントを実施することで、魅力ある地下空間の魅力を市民にPRすることで、回遊性向上効果を一層高める。								
1-C-3	1-A-1に加え、大通交流拠点に隣接する南1条通周辺地区について、地下歩行ネットワークの整備を含めた更なる魅力アップについて検討することで、将来的に整備効果を高めることができる。								
1-C-4	軌道の整備(1-A-2)に併せて、バリアフリー対応でデザイン性に優れた低床車両を導入することにより、回遊性向上効果を高めるとともに都心の賑わいを創り出すことができる。								
1-C-7	1-A-1とあわせて、証明サービスコーナーを整備することで、利便性向上、にぎわい創出効果を高めることができる。								
1-C-8	1-A-1、1-A-2に加え、世界最先端の文化芸術を国内外に発信する事業やその拠点を創出することで、都心のにぎわいを創出し、回遊性をより一層向上させ、事業効果を一層高める。								
1-C-9	1-A-1、1-A-2に加え、路面電車ループ化区間である駅前通に、利便性の向上やにぎわいの創出に資するオープンデッキ等の施設を整備することで、沿線の魅力、地区全体の魅力を高めることができる。								

(参考図面)

計画の名称 道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現  
計画の期間 平成23年度 ~ 平成28年度 (6年間)

交付対象 北海道札幌市



# 社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:札幌駅・大通駅周辺地区整備計画 事業主体名:札幌市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○